

DH-150

ハンドトラック

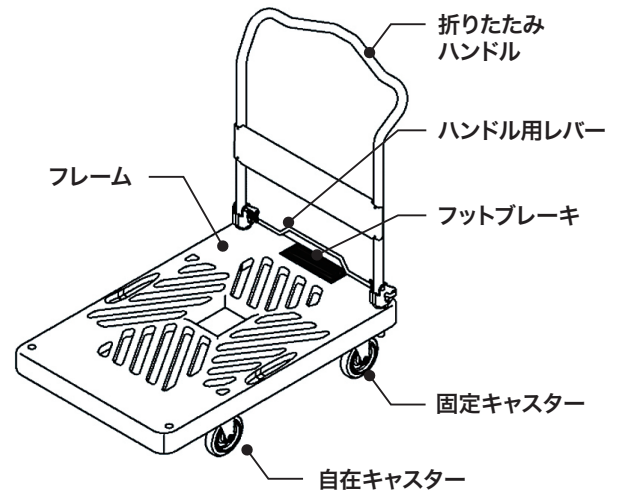
取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
 ご使用前にこの取扱説明書をお読みにになり、正しく使用してください。
 お読みにになった取扱説明書は大切に保管してください。

1.安全上の注意

警告	この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します
<ul style="list-style-type: none"> ●最大積載量以上は積まないでください。積載オーバーはあらゆる事故につながります。 ●人を絶対に乗せないでください。転落、転倒などにより生命に関わる重大事故となります。 ●平坦な路面でご使用ください。また傾斜路に放置しないでください。 ●4km/hを越える速度で使用しないでください。重大事故となります。 ●偏った積載はしないでください。荷崩れ、転倒事故につながります。 	
注意	この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します
<ul style="list-style-type: none"> ●積荷は、本体よりはみ出す積載、また片寄った積載(偏荷重)はしないでください。 ●前が見えないほど荷を高く積まないでください。 ●自在キャスターと固定キャスターを逆に取り付けしないでください。 	
してはいけないこと	
<ul style="list-style-type: none"> ●後ろ向きに引っ張っての使用はしないでください。 ●周囲温度-5℃から60℃の範囲から外れる環境では使用しないでください。 	
しなければならないこと	
<ul style="list-style-type: none"> ●キャスターの取付、車輪の状態、ハンドルの状態を使用前に点検してください。 	

2.各部の名前とはたらき



3.使いかた

- (1) フットブレーキの後方部を踏むことで、後輪をロックします。(写真 3-1-1)
 解除は、足でブレーキの後方部を下から跳ね上げます。(写真 3-1-2)
- (2) 折りたたみハンドルは、ハンドル用レバーを踏むと、折りたためます。



4.使用上の注意

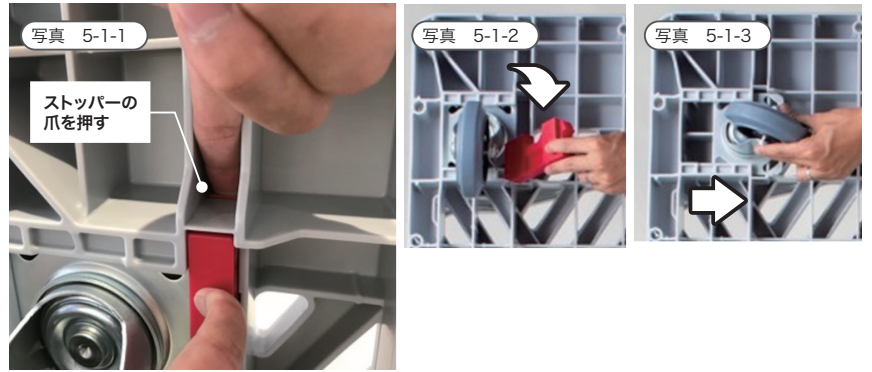
- (1) この製品は、手軽なハンドトラックです。安全上の注意をよく読んでご使用ください。
- (2) 平坦な路面を選んで走行し、無理な押し・引きはしないでください。製品の変形・破損の原因となります。
- (3) 温度・湿度が著しく高い・低い場所での使用・保管はお控えください。変形、変色原因となります。
- (4) 製品の上に、半田ごてやドライヤー等、高温になった器具類、暑い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなど直接置かないでください。火災や変色や変形の原因となります。
- (5) 製品を水に浸けたり、濡れたまま放置したりした場合は、直ちに水分をふき取り乾燥させてください。金属部品の錆色の原因となります。
- (6) 消耗部品には寿命があります。キャスター部や稼動部など、異音や変形、摩耗などが発生・確認できた場合には、購入店にご相談ください。
- (7) 樹脂フレーム、樹脂部品は、紫外線によって劣化します。長年のご使用の場合、破損することがありますので、定期的に交換・更新をお願いいたします。
- (8) 特別なご使用をされる場合は、購入店にご相談ください。
- (9) 製品に不具合が生じたときは、購入店にご相談ください。

5. キャスターの着脱方法 (キャスターは着脱可能です)

5-1. キャスターの取り外し

●キャスターは、ボルトレス取り付けです。
キャスター横の赤いキャスター抜け止め
(ストッパー)を外せばキャスターを取り外し
できます。

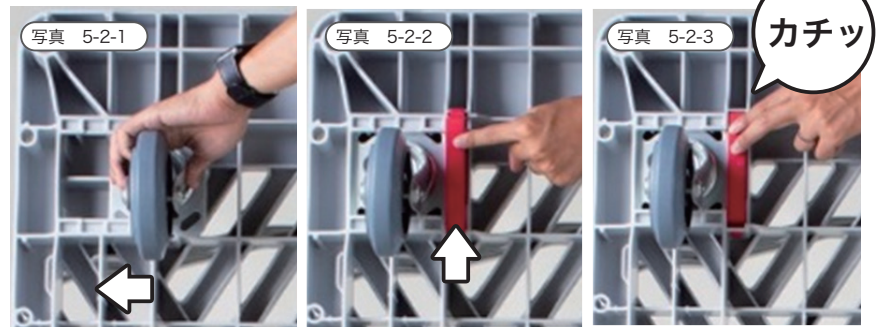
- (1) フレームのリップの奥に見えるストッパーの爪を押し込みながら、ストッパーを手前に抜いてください。
(写真 5-1-1、5-1-2)
- (2) その後、キャスターをスライドさせて抜いてください。(写真 5-1-3)
※キャスターがスライドしないときは、木片などを当てて、軽く叩きながら外してください。



5-2. キャスターの取り付け

●キャスターは、ボルトレス取り付けです。

- (1) フレームを裏返しキャスタープレートのスライドさせて差し込みます。(写真 5-2-1)
※キャスタープレートが入りにくい場合は、木片などを当てて、軽く叩いて入れてください。
- (2) 赤いキャスター抜け止め(ストッパー)をカチッと叩いて差し込んでください。(写真 5-2-2、5-2-3)



6. お手入れのしかた

- ・製品が汚れた場合には、通常は乾いたやわらかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れが著しい場合は、次の(1)～(3)の手順を守って汚れを落としてください。
 - (1) 薄めた中性洗剤につけたタオルなどの布を硬く絞って拭いて汚れを落とす。
 - (2) 水につけた布を良く絞って、洗剤が残らないように拭く。
 - (3) 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭きとる。
※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行ってください。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないでください。
使用しますと表面剤の損傷の原因となります。

7. 故障かな?と思ったら(不調診断)

- ・製品の使用中、異音や異常が発生した場合はご使用を中断し、点検・修理してください。
 - (1) 車輪が回らない。 → キャスターを交換してください。
 - (2) 自在金具(キャスター回転部)が回らない → 自在キャスターを交換してください。
※車輪・キャスター交換の場合、同じキャスターの2輪、又は前後4輪の交換をお願いいたします。
1輪だけ交換した場合、摩耗度合いの違いから4輪が均等に接地しなくなります。
その場合、走行時に荷台がガタつき、荷物の安定性を欠き荷崩れしやすくなります。
また、異音や製品の破損に繋がりますのでご注意ください。
 - (3) 荷台・部品の変形・破損 → 交換してください。